

ひのき 杜協だより たるい

2017.7

第101号



生活支援サービスづくり（垂井地区第1回ささえあい講座）

注目記事

第3回 たるいふれあいのつどいを開催します！

日 時／7月9日(日)

午前9時30分～11時30分

場 所／垂井町文化会館

内 容／吹奏楽、講演会他

参加費／無料

※詳しくは、P.7をご覧ください。

おもな内容

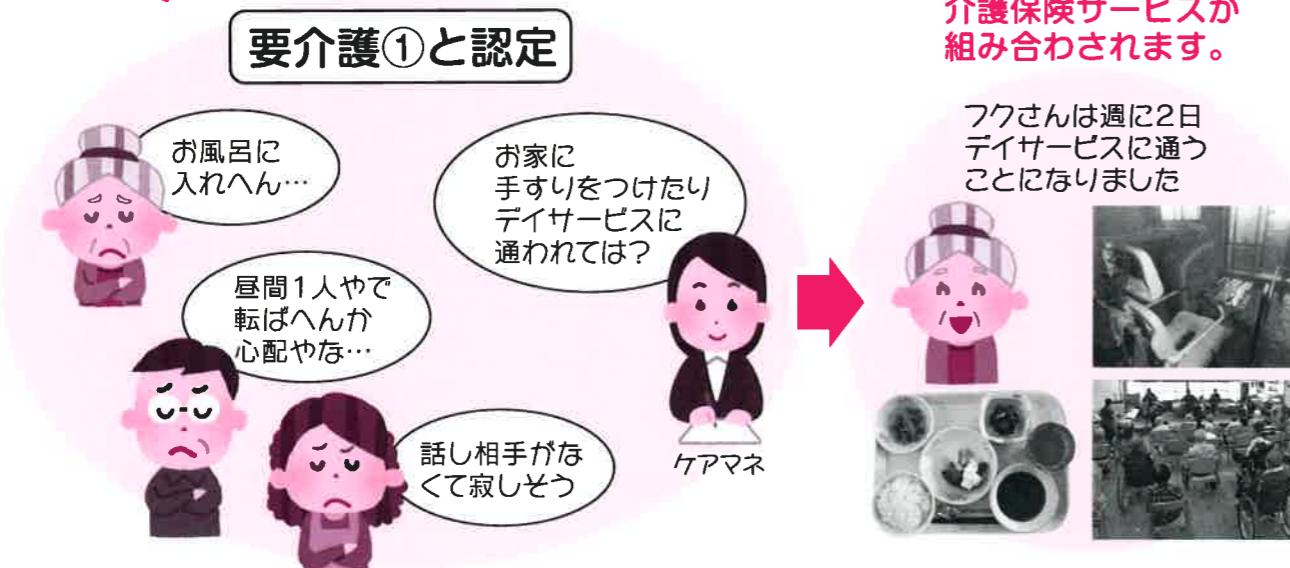
- 紹介 こんなときどうすれば？（高齢者編）（P.2、3）
- 紹介 生活支援サービスづくり……………（P.4）
- 報告 福祉推進員・近隣ボランティア研修会を開催（P.4）
- 紹介 出前講座をご利用ください……………（P.4）
- 紹介 生活支援相談センターをご利用ください（P.5）
- 募集 災害ボランティアコーディネーター養成講座受講者募集（P.6）
- 募集 在宅介護者のつどいにご参加ください（P.6）
- 紹介 第3回たるいふれあいのつどい開催のご案内（P.7）
- 募集 ぎふ子どもの学習支援事業のご案内とボランティア募集（P.8）
- 紹介 心配ごと相談日、おもちゃ病院たるい診療日のご案内（P.8）
- 報告 善意のご寄付 ありがとうございました（P.8）

平成29年7月1日発行

編集発行

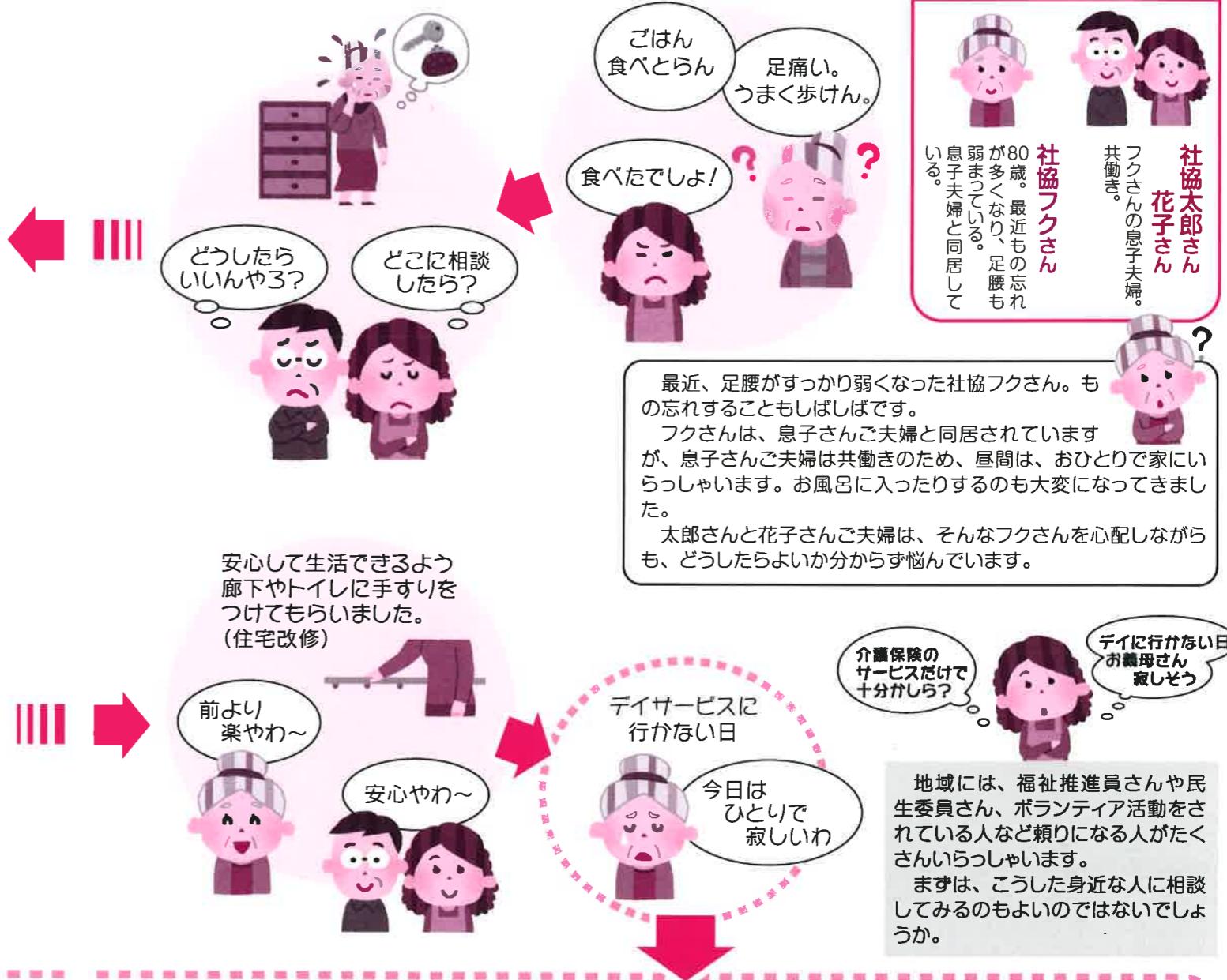
社会福祉法人 垂井町社会福祉協議会
不破郡垂井町1305番地の2（垂井町福祉会館）
TEL (0584)23-3335 FAX (0584)22-2714
ホームページ <http://www.tarui-shakyo.jp>
E-mail info@tarui-shakyo.jp

こんなとき どうすれば? [高齢者編]



今回のような事例以外にも様々な困りごとがあると思います。
そんなとき、まずは社会福祉協議会(社協)にご相談ください。

電話／(0584) 23-3335
住所／垂井町1305番地の2
垂井町福祉会館内



介護保険など公的なサービスだけでは、安心して暮らすことは難しいかもしれません。フクさんもデイサービスに行かない日は、昼間はおひとりで寂しく不安な思いで暮らされています。
そんなときこそ、地域の皆さんとの支え合い・助け合いという**地域の力**が大きな支えとなります。

今、町内でも「ふれあいきいきサロン(サロン)」やちょっとした困りごとをお手伝いしたり、お話し相手になったりする「生活支援サービス」、「声かけ・見守り活動」などの取り組みが進められています。
フクさんの暮らしをより良いものとするためには、これら地域の取り組みや力が不可欠です。



生活支援サービス

主な登場人物



地域にひろげよう 支え合いと助け合いの輪

～生活支援サービスづくり～

町内各地区で生活支援サービスづくりが進められています。

昨年度スタートした「表佐地区ちよつとサポート」、「岩手地区くわいしのサポート」に加え、今年度から「宮代地区ちよつとサポート」と「栗原地区生活支援サービス」の活動がスタートしました。

生活支援サービスとは、地域の人が抱えた日常のちょっとした困りごとを同じ地域の人

がお手伝いする活動で、地域の人がお互い様の気持ちにより助け合い、住み慣れた地域で安心して暮らしが続けることができるようにしていくものです。

現在、他の地区でも活動に向けて準備が進められています。

地縁、血縁、社縁が薄くなり、かつてのようないい結びつきがなくなりつつある今、次時代に適した新しい地域づくりが求められており、この生活支援サービスのしくみもその一つとして、全国的に取り組まれています。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。



福祉推進員・近隣ボランティア研修会を開催

4月、町内各地区で福祉推進員及び近隣ボランティア研修会を開催しました。

研修会では、福祉推進員と近隣ボランティアの皆様にその役割や活動について、社会福祉協議会職員による寸劇などもご覧いただきました。

また、各地区的民生委員・児童委員の皆様にも出発いただき、福祉推進員や近隣ボランティアの皆様との顔合わせもおこなっていただきました。

研修会では、福



研修会の様子

祉推進員の皆さんには、自治会内における地域福祉のキーパーソンとして、また、近隣ボランティアの皆様には、隣近所ならではの心配りによる声かけや見守りをしていただこうとして、地域の福祉課題解決のためにご尽力いただきますとともに、各地区ささえい連絡会等の活動でもご活躍いただきたいと願っております。

皆さん地域で開催される会議や集いに社会福祉協議会をお呼びください。社会福祉協議会のこと、福祉に関すること、災害図上訓練(DIG)や避難所運営訓練(HUG)、災害ボランティアなど災害に関することなど、研修会などの際にお手伝いをさせていただきます。

こんなことを協力してもうえないだろうか、ということがありましたら、まずはお気軽に社会福祉協議会までご相談ください。

出前講座を「」利用ください



出前講座内容(例)

- 福祉制度について
- ボランティアについて
- 車イスの使い方
- 社協事業紹介
- 災害図上訓練 (DIG)
- 避難所運営訓練 (HUG)
- クロスロードゲーム
- 認知症サポーター養成講座

など

～岐阜県生活困窮者自立相談支援事業のご案内～

生活支援相談センターをご利用ください



家計のやりくりが
うまくいかない…



もう何年も
子どもの
ひきこもりが
続いている…



家賃が払えず
住むところが
なくなってしまいそう…



仕事がなかなか
決まらない



借金が多くて
返済が
できない…

ひとりで悩まず、ご相談ください。



専門のスタッフがあなたの生活の不安や心配と一緒に考えます。

連絡先 ○岐阜県生活支援相談センター 西濃支所

(対象地域：垂井町、養老町、関ヶ原町、輪之内町、安八町、神戸町)

〒500-8501 大垣市江崎町422-3 西濃総合庁舎 5階

☎0584-83-2011(無料電話 0800-200-2532)

○垂井町社会福祉協議会

〒503-2121 垂井町1305-2 垂井町福祉会館内

☎0584-23-3335

相談日時：月～金曜日 8:30～17:15

(ただし、祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除きます)

ちょっと脳トレ

A～Dに入る文字を並べてできる言葉は何でしょうか？

タテのカギ

- 1 D 2
 - 3 4
 - 5 A
 - 6 7
 - 8 B
 - 9
 - 10
 - 11
 - 12
 - 13
- 解説欄 A B C D
- 1 小釜に米と野菜、鶏肉などを入れ、醤油・みりん等で味付けして炊き込んだ料理
3 考えをめぐらすこと また、その考え
4 軟体動物の総称
5 社会福祉協議会略して〇〇〇〇
6 東から昇り、西へ沈む恒星
7 豆腐の凝固剤として用いられる食品添加物
9 栗原山にあり、根元で2幹に分かれ、再び癒着して連理の状態になる縁結びの木
11 幻の高級魚

ヨコのカギ

- 1 栄養豊富で海の野菜ともいわれ、お味噌汁などに用いられる海藻
3 朝倉公園に夜になると降りてくる動物
5 スポーツなどの技を比べ合い勝敗を競うこと
6 垂井城主 平塚為広がモデルのゆるキャラ
8 沖縄県内では沖縄本島、西表島に次いで3番目に広い島 〇〇〇島
10 植樹などにより国土の緑を豊かにする運動 〇〇〇〇運動
12 12支の7番目
13 垂井町社会福祉協議会 会長の趣味

(答えは、P.7)

災害ボランティアコーディネーター 養成講座 受講者募集!

受講
無料

大きな災害が発生した際、被災者の思いと災害ボランティアの思いをつなぐ拠点として設置される災害ボランティアセンター。

この災害ボランティアセンターにたずさわるコーディネーター（思いをつなぐ方）の養成講座を開講します。

災害時のボランティア活動支援体制づくりと平常時からの災害に備えた地域の防災力向上にお力を貸しいただける方を募集いたします。

●日時、内容、講師、場所

第1日目	第2日目
<p>日 時／平成29年8月24日（木） 午前9時30分～午後3時30分</p> <p>場 所／垂井町文化会館</p> <p>内 容／救急法基礎講習 講師：日本赤十字社岐阜県支部 ※赤十字社より、受講者に受講証が、さらに試験に合格された方には認定証も発行されます。</p>	<p>日 時／平成29年8月25日（金） 午前9時00分～午後3時30分</p> <p>場 所／垂井町文化会館</p> <p>内 容／災害について、避難所運営訓練（HUG） 講師：防災士 西田 重成 氏 災害ボランティアセンター設置・運営訓練 説明：垂井町社会福祉協議会</p>

●対 象／町内在住又は在勤・在学の方

●定 員／50名

●受 講 料／無料

●申込期限／平成29年8月15日（火）

●応募方法／必要事項（①ご希望講座②ご氏名③ご住所④お電話番号）を来所、郵送、電話、ファックスのいずれかの方法で申込締切日までに、下記までお申込みください。

●そ の 他／（1）受講者の決定は先着順とします。

（2）昼食は各自ご用意ください。

（3）本講座の全課程を受講された方には、本会より修了証をお渡しいたします。

●お申込先・お問合せ先／垂井町1305番地の2 垂井町福祉会館（〒503-2121）

垂井町社会福祉協議会 事務局（担当 富田、古田）

電話：23-3335 FAX：22-2714

在宅介護者のつどいにご参加ください！

在宅でご家族等を介護されている皆さん、少しの時間、介護から離れてリフレッシュしませんか？

●日 時／平成29年8月8日（火）

午前10時～午前11時30分

●場 所／垂井町福祉会館 介護学習室

●対 象／在宅で介護されている方や介護に協力されている町内在住の方

●参 加 費／無料

●参加方法／電話等で垂井町社会福祉協議会までお申し込みください。

☎23-3335



平成29年度障がい児・者ふれあい事業

第3回 ~ともに理解し、助け合い、暮らしたい~ !

たるいふれあいのつどい



地域の誰もが安心して暮らせるまちづくり。
障がいのある人もいない人もいつしょに考えましょう！

どなたでもご参加いただけます！参加申込は不要です。
(託児をご希望の場合は事前にご連絡ください。)

とき／7月9日(日) 午前9時30分～午前11時30分
ところ／垂井町文化会館(垂井町富代2907-2 ☎23-1010)

- ◆ オープニング(吹奏楽) 演奏 大垣女子短期大学
ウインドアンサンブルの皆さん
 - ◆ 講演 「障がい児の母として生きる」
 - ◆ 講師 衆議院議員 野田聖子氏



「小物づくり」体験コーナー併設(兼・託児)

講師：コミュニティママの皆さん
障害者福祉制度相談コーナー併設予定
協力：垂井町健康福祉課

お問い合わせ：[0584-23-3335](tel:0584-23-3335)（垂井町社会福祉協議会事務局）
主催：第3回たるいふれあいのつどい実行委員会・社会福祉法人垂井町社会福祉協議会

ちょっと脳トレ (P.5) の答え

答元

解答欄	A	B	C	D
	ア	イ	カ	ワ

桜が咲くころ、鯉のぼりが
伊吹山に向かって泳ぐ姿は
圧巻ですね。

タテのカギ	ヨコのカギ
2 釜飯	1 わかめ
3 思案	3 鹿
4 貝	5 試合
5 社協	6 ためにやん
6 太陽	8 石垣
7 にがり	10 緑化
9 樺	12 馬
11 ク工	13 植木

ワ	カ	メ		シ	カ
	マ		シ	ア	イ
タ	メ	ニ	ヤ	ン	
イ	シ	ガ	キ		サ
ヨ		リ	ヨ	ク	カ
ウ	マ		ウ	エ	キ

ぎふ子どもの学習支援 垂井教室のご案内 と ボランティア募集

垂井町社会福祉協議会では、下記の世帯の小中学生を対象に、学習支援事業を行います。

本事業により、日々の学習習慣の形成や学力の向上等を図るとともに、居場所の提供を通じて、子どもの自尊感情を育み、自立促進をめざします。

詳しくは、垂井町社会福祉協議会までお問い合わせください。

【対象世帯】

- ①生活保護受給世帯
- ②就学援助受給世帯
- ③町民税非課税世帯
- ④児童扶養手当全部受給世帯
- ⑤その他主催者が必要と認める世帯



学習支援ボランティア募集！

ぎふ子どもの学習支援・垂井教室でボランティアとして、子どもと一緒に勉強したり、話し相手になっていただける方を募集しています。

幅広い皆さんのご協力をお願いいたします。

学習支援事業・学習支援ボランティアについて詳しくは、垂井町社会福祉協議会まで

(☎23-3335)

心配ごと相談日のご案内

場 所／垂井町福祉会館 2階相談室（垂井町1305番地の2）

時 間／各回とも 午後1時～午後4時

その他／ご相談は無料です。

法律相談をご希望の場合は、必ずご予約ください。

※日程が変更となる場合もございます。ご利用の際は本会までご確認ください。

	心配ごと相談			法律相談	結婚相談
7月	5日(水)	12日(水)	19日(水)	27日(木)	22日(土)
8月	2日(水)	9日(水)	16日(水)	24日(木)	26日(土)
9月	6日(水)	13日(水)	20日(水)	28日(木)	23日(土)

◆お問い合わせ・ご予約先

垂井町社会福祉協議会

☎(0584)23-3335



あたたかい善意のご寄付
ありがとうございました

- 匿名様 10,000円
- 匿名様 10,000円

編集後記

第101号となります今号より社協だより編集担当者による編集後記の掲載がスタートします。

今後も社協だよりにより、地域福祉関連のイベントから介護関連の情報まで幅広く、そして分かりやすく、様々なことを発信して参ります。

7月の暑さに負けない程の熱い思いを持って編集に望みたいと考えております。(古)

おもちゃ病院たるい 診療日

壊れたおもちゃをお持ちください。
おもちゃドクターが修理します。

※修理費は無料ですが、部品代など実費をいただく場合がございます。

※テレビゲーム機など承れないおもちゃもございますのでご了承ください。

診療日時／7月22日(土)

8月26日(土)

9月23日(土)



※各日とも、午前10時～午前12時

場 所／垂井町福祉会館 介護学習室

お問い合わせ先／垂井町社会福祉協議会

☎(0584) 23-3335



この印刷物は、グリーン基準に適合した印刷資材を使用して、グリーンプリントイング協定工場が印刷した環境配慮製品です。
P-B10059



この広報紙は再生紙を使用しています。